

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年2月10日

上場取引所 大

上場会社名 和弘食品株式会社  
 コード番号 2813 URL <http://www.wakoushokuhin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 和山 明弘

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 中島 康二

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 0134-62-0505

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	4,441	—	276	—	284	—	165	—
23年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	20.23	—
23年3月期第3四半期	—	—

注)23年3月期は決算期の変更により、平成23年1月1日から平成23年3月31日までの3ヶ月間となっております。このため、前年同四半期の経営成績(累計)及び対前年四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	5,520	—	4,016	—	—	72.8
23年3月期	4,896	—	3,850	—	—	78.6

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 4,016百万円 23年3月期 3,850百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,561	—	160	—	175	—	90	—	10.95

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注)23年3月期は決算期の変更により、平成23年1月1日から平成23年3月31日までの3ヶ月間となっております。このため、24年3月期業績予想における対前期増減率について記載しておりません。

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	9,493,193 株	23年3月期	9,493,193 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	1,304,522 株	23年3月期	1,303,322 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	8,189,036 株	23年3月期3Q	— 株
----------	-------------	----------	-----

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等についてはP. 3「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
（1）経営成績に関する定性的情報 .....	2
（2）財政状態に関する定性的情報 .....	2
（3）業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	4
（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	4
4. 四半期財務諸表等 .....	5
（1）四半期貸借対照表 .....	5
（2）四半期損益計算書 .....	7
（3）継続企業の前提に関する注記 .....	8
（4）セグメント情報等 .....	8
（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
（6）重要な後発事象 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災によって寸断された国内のサプライチェーンが復旧し、輸出産業を中心に生産活動が持ち直した矢先に、日本企業が多数進出するタイ中部で大規模な洪水被害が発生し、企業業績に再び懸念が生じました。また、引き続き不透明な欧州債務危機の行方、中国経済の減速など、海外経済の変調や、歴史的な円高などもあり輸出は低調で、個人消費、設備投資も低迷し、景気は、停滞した状況で推移いたしました。

食品業界では、震災直後の自粛ムードや節約疲れの反動で外食産業の一部などに回復感が見られたものの、厳しい雇用情勢、所得環境などから、内食回帰、巣籠もり消費傾向が継続いたしました。そうしたなか、牛肉や農作物の放射能汚染や風評被害により、消費者の買い控えが起こるなど、景況は、業種・業態によってもまだら模様で、全般的に盛り上がり欠けた状況で推移いたしました。

こうした状況のもと、当社におきましては、全社的に生産性や業務品質を向上すべく、全社で「カイゼン提案制度」を導入するなど、組織の活性化、業務の改善に取り組んでまいりました。生産部門では、品質と生産性向上による競争力強化のため「カイゼンプロジェクト活動」や社員の教育・研修に引き続き注力するとともに、品質保証体制の強化や北海道、関東の両主力工場における生産設備の効率的保全・運用を図るべく、組織の一部変更を行いました。営業部門では、お客様満足度と営業活動における生産性の向上を図るべく、営業社員のスキルアップを目的とした教育・研修に取り組むと同時に、新たにITを活用した営業支援システムを導入いたしました。また、中食向け業務用製品などの拡販に向け「CVS部」を設置し、さらに、競合他社との差別化を一層推進すべく、商品開発部門に「研究グループ」を設けるなど、組織の見直しにも積極的に取り組んでまいりました。

以上により、売上高につきましては、中食・外食関連などの主要得意先の売上が堅調を維持し、4,441百万円となりました。一方、利益につきましては、高止まりした燃料費や原材料のコスト上昇の影響を受けましたが、営業利益は、276百万円、経常利益は、284百万円、四半期純利益は、165百万円となりました。

なお、前事業年度は決算期変更に伴い3ヶ月決算であり四半期決算を行っていないため、前第3四半期累計期間との比較は行っておりません。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第3四半期会計期間末における総資産合計は5,520百万円となり、前事業年度末に比べ624百万円増加いたしました。その主な要因は、季節変動による売上高の増加に伴い、売掛金が313万円増加したことと、土地が54百万円増加したことによるものであります。

##### (負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は1,504百万円となり、前事業年度末に比べ458百万円増加いたしました。その主な要因は、季節変動による生産高の増加により買掛金が367百万円増加したことによるものであります。

##### (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は4,016百万円となり、前事業年度末に比べ166百万円増加いたしました。その主な要因は、四半期純利益165百万円による利益剰余金の増加によるもので

あります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想に関しましては、第3四半期において、利益面で、通期予想を上回っておりますが、第4四半期は、売上高の季節変動の影響から収益の低下が予想され、さらに、関東工場における改修工事等の費用の発生が見込まれるため、現時点において平成23年11月7日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,376,998	1,650,232
受取手形及び売掛金	796,595	1,144,869
商品及び製品	219,638	262,741
仕掛品	13,693	6,089
原材料及び貯蔵品	191,558	214,958
その他	110,761	53,016
貸倒引当金	1,500	1,377
流動資産合計	2,707,745	3,330,530
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	856,712	822,499
機械及び装置(純額)	294,007	263,998
土地	581,179	636,142
その他(純額)	219,205	214,597
有形固定資産合計	1,951,105	1,937,237
無形固定資産	8,586	16,673
投資その他の資産	228,762	236,374
固定資産合計	2,188,453	2,190,285
資産合計	4,896,199	5,520,815
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	484,328	851,514
未払法人税等	4,263	113,997
賞与引当金	64,000	59,000
その他	290,008	289,909
流動負債合計	842,600	1,314,420
固定負債		
役員退職慰労引当金	113,544	95,894
その他	89,655	93,904
固定負債合計	203,199	189,799
負債合計	1,045,799	1,504,219

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,413,796	1,413,796
資本剰余金	1,376,644	1,376,644
利益剰余金	1,284,554	1,450,188
自己株式	232,092	232,315
株主資本合計	3,842,903	4,008,313
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7,495	8,281
評価・換算差額等合計	7,495	8,281
純資産合計	3,850,399	4,016,595
負債純資産合計	4,896,199	5,520,815



(2) 四半期損益計算書  
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	4,441,389
売上原価	3,310,204
売上総利益	1,131,185
販売費及び一般管理費	854,888
営業利益	276,296
営業外収益	
受取利息	265
受取配当金	2,811
受取賃貸料	3,819
その他	3,612
営業外収益合計	10,509
営業外費用	
支払利息	1,469
保険解約損	589
その他	85
営業外費用合計	2,144
経常利益	284,662
特別利益	
固定資産売却益	14,733
特別利益合計	14,733
特別損失	
固定資産除却損	186
投資有価証券評価損	637
ゴルフ会員権評価損	811
特別損失合計	1,634
税引前四半期純利益	297,760
法人税、住民税及び事業税	110,167
法人税等調整額	21,959
法人税等合計	132,127
四半期純利益	165,633

( 3 ) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

( 4 ) セグメント情報等

当社は、食品製造事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

( 5 ) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

( 6 ) 重要な後発事象

該当事項はありません。